

安全データシート**1. 化学物質等及び会社情報**

製品名：チタン線、その他
 会社名：日本精線株式会社
 住所：〒541-0043 大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号(興銀ビル9F)
 担当部門：下述
 連絡先：大阪支店 TEL 06-6222-5433 FAX 06-6222-2439
 東京支店 TEL 03-5203-1645 FAX 03-5203-1648
 名古屋支店 TEL 052-219-5121 FAX 052-219-5123
 海外部 TEL 06-6222-5434 FAX 06-6222-2439
 緊急連絡先：同上

2. 危険有害性の要約

本製品は一般的な環境下では安定であり、有用な物理的、化学的な危険有害性情報を有していない。
 ただし溶接や溶断の際はヒューム、研磨や研削の際は粉じん、酸洗の際はガスが発生し、呼吸器、眼、肌などを刺激する場合があります。

記載がない危険有害性は、区分外、分類対象外、または分類できない。

3. 組成及び成分情報

単体/混合物の区分：混合物(合金線)

成分 ※1	注記 ※2	含有量 (Wt%)	CAS 番号	化管法 管理番号	安衛法政令番号
鉄	[Fe]	-	7439-89-6	-	-
チタン	[Ti]	残	7440-32-6	-	-

※1 成分

合金成分として使用する。

その他

製品仕様によっては表面に微量の油分等を使用する場合があります。

4. 応急措置

本製品は通常状態で個体であり、一般的な環境下では応急措置が必要な事態は発生しない。
 本製品の加工等により発生した粉じん/ヒュームを吸入した場合や飲み込んだ場合、又は粉じん/ヒュームが皮膚に付着した場合は、下記に示す応急措置の後、必要に応じて医師の診断又は手当てを受けること。

吸入した場合(加工時に粉じんや煙が発生した場合)

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合(加工時に粉じんや煙が発生した場合)

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合(加工時に粉じんや煙が発生した場合)

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合(加工時に粉じんや煙が発生した場合)

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

本製品は一般的な環境下では安定した固体であり、周辺の火災発生時の消火器や散水による消火活動において特に制約はない。

6. 漏出時の措置

一般的な環境下では安定な固体であるため漏出の恐れはないが、溶接、溶断、切断、研磨などの加工により発生するヒューム、粉じんなどに対しては以下の処置を行う。

[人体に対する注意事項]

適切な保護具を使用して粉じん、ヒュームなどの吸入や眼への侵入を防ぐこと。

[保護具及び緊急時措置]

保護マスク、保護メガネ、作業服着用により吸引、眼への侵入、皮膚への付着を避けること。

[環境に対する注意事項]

粉じん、ヒュームは適切に回収、廃棄し環境汚染を防止すること。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]

粉じん、ヒュームなどは、適切な手段、設備を用いて回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- (1)本製品を取り扱う場合、呼吸器、皮膚、眼、及び身体を保護するため、適切な保護具を着用すること。
- (2)本製品を、加熱、溶融、切削、研磨等の加工を行ない、粉じん・ヒューム等が発生する場合は、装置の密閉化あるいは排気を十分に行なう等、身体へのばく露を防止すること。
- (3)加熱の影響による生成物など製品の状態変化に関しては十分に注意し適切な対処を行いながら作業すること。
- (4)本製品を保管する場合、施錠して保管すること。粉じん状態での保管は飛散しないようにカバー等で覆うこと。

8. 暴露防止及び保護措置

適切な個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

外 観 :特殊鋼金属(線) (固体)

引 火 点 :該当なし

融 点 :1000~1800℃

比 重 :4~7

化学的性質:水には不溶。弱酸及びアルカリにはある程度の耐食性がある。強酸(塩酸、硫酸等)、高温アルカリには多少溶解する。酸化性酸で不動態被膜が形成される。

10. 安定性及び反応性

安 定 性 :一般環境下ではほぼ安定している。

有害分解物質 :加熱、溶解、溶融、溶接、切削、研磨等の加工時には金属化合物、粉塵、ヒューム等が発生する可能性がある。また酸洗などにより有害なガスが発生する可能性がある。

避けるべき条件 :酸、アルカリ等の腐食性ガス、ミスト、液体との接触、高温溶解など

混触危険物質 :明確な知見なし。

11. 有害性情報

前述2項を参照

12. 環境影響情報

前述2項を参照

13. 廃棄上の注意

本製品、端材、切断屑等、及び、梱包材を廃棄する場合、国際、国、都道府県、又は、市町村の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

チタン系合金線として該当する事項はない。

15. 適用法令

労働安全衛生法

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) : 指定なし

16. その他の情報

◇参考資料

- (1)独立行政法人 製品評価技術基盤機構 ホームページ
- (2)経済産業省、厚生労働省 -GHS対応- 化管法、安衛法、毒劇法におけるラベル表示・SDS提供制度
- (3)JIS Z7253 2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS)」
- (4)JIS Z7252 2019 「GHSに基づく化学品の分類方法」

◇その他

この安全データシートは、現時点で入手可能な資料やデータを用い、本製品をご使用いただく各事業者様に安全にご使用いただくための参考資料として作成し配布するものです。

本紙の作成、制定に於きましては十分な配慮を行っておりますが、得られた情報は必ずしも十分でないことが想定され、また知見の及ばない不測の危険性が存在する場合なども考えられます。従って本誌にて本製品の安全性を保証することはできません。

あらためて、製品のご使用においてはご使用者様の責任において適切な処置の下で安全等の確保をお願いします。

以上